

「授業改善ステップ表」と「手立て一覧表」を用いた授業改善の手順

授業改善の流れ	教師の意識（観点Aの例）	「授業改善ステップ表」と「手立て一覧表」の活用方法
<p>児童の実態把握</p> <p>↓</p>	<p>授業改善のために、何をすればいいだろう。まずは、「授業改善ステップ表」で、学級の児童の姿を振り返ってみよう。</p>	<p>1 「授業改善ステップ表」A～Dについて、<u>当てはまる児童の姿のチェック欄</u>いずれかに<input checked="" type="checkbox"/>を付けます。チェックする際は、<u>学級の半数以上の児童が達成できているかどうかを目安</u>としてください。</p>
<p>授業の改善点と目指す児童の姿の洗い出し</p> <p>↓</p>	<p>観点Aは、<u>今ステップ①かな</u>。ステップ②に示された姿を見ると、単元のゴールを見通させていなかったことが分かるよ。じゃあ、一体どうしたらいいのだろう…。</p>	<p>「授業改善ステップ表」観点Aの例</p> 
<p>手立てを取り入れた授業実践（単元）</p> <p>↓</p>	<p>ステップ②に向けたステップアップの手立ては、<b>f</b>、<b>g</b>、<b>h</b>ね。「手立て一覧表」で確認すると、「児童と一緒に学習計画を立て…学習のゴールやプロセスのイメージをつかませる」という<b>g</b>の手立てを取り入れてみたい。</p>	<p>2 <u>チェック欄の下には、ステップアップに向けた手立てを示しています</u>。クリックすると、「手立て一覧表」が開くので、対応させてご覧ください。</p>
<p>授業改善に向けて取り入れた手立ての検討</p> <p>↓</p> <p>〈次の単元〉</p>	<p>この単元では、<b>g</b>の手立てを取り入れたことで、教師である自分自身が、単元を見通すことにもつながった。ただし、ゴールのイメージをより具体的につかませるために、教師がモデルを示すべきね。</p>	<p>3 示された手立ての中から、必要と思われるものを選び、<u>適宜応用しながら授業に取り入れてください</u>。（次のステップに向けた手立てではなく、現段階のステップに当たる手立てが有効な場合もあるでしょう。）</p>
<p>児童の実態把握</p>	<p>よし。次の単元では、<b>g</b>に加えてモデルを示す<b>h</b>の手立ても取り入れてみよう！</p>	<p>4 教師が授業改善を行う中で、児童の実態も変化していきます。1～3の手順を繰り返し、授業を見直し続ける中で、授業の質的改善が図られていきます。</p>

※観点B～Dも同様の手順を踏みます。

日々の授業を不断に見直し続けることが大切です。

「授業改善ステップ表」 A

**観点 A** **児童に、学習のゴールまでの見通しを持たせていますか？**  
**学習への目的意識や必要性は持たせていますか？**

児童自身が、学習に対する目的や必要性を実感できると、粘り強く学びに向かうことができます。何を、どのようにすれば、どのような力が身に付くのかを、児童と共通理解しておくことも大切です。

**ステップ ①**

本時の**めあて**に沿って、**1 単位時間**の**ゴール**を見通している。



今日は〇〇をするんだね。

児童のつぶやき例

**ステップ ②**

単元の始めに提示された**学習計画**に沿って、**本時の学習**や**単元のゴール**を見通している。

単元のゴールに向かって、今日は〇〇をするんだね。

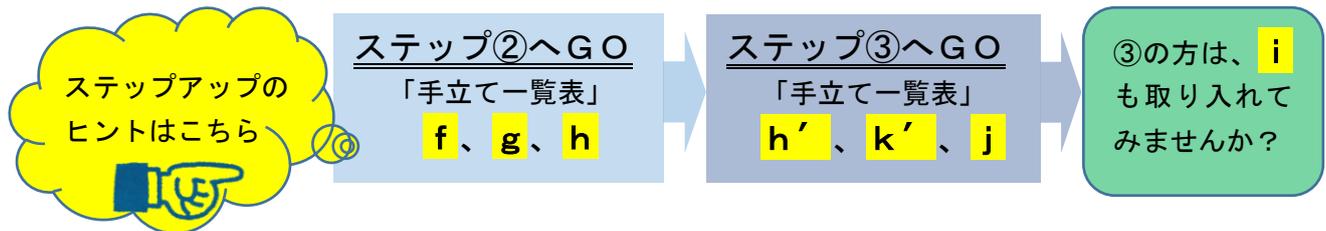
**ステップ ③**

単元の始めに提示された**学習計画**に沿って、**身に付けるべき力を意識**しながら、**単元のゴール**を見通している。

単元のゴールに向かって、今日は〇〇をするんだね。  
△△できるようになるぞ。

★あなたの学級の児童は、どのステップに当てはまりますか？学期ごとにチェック☑してみましょう！  
 チェック欄の下に、ステップアップのためのヒントが載っています！  
 ★めあての大切さについて、詳しく知りたい方は、「[授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1](#)」へGO！  
 クリック⇒『めあて』の提示」「学習内容の『まとめ』」

4月			
7月			
12月			
3月			



「授業改善ステップ表」B

観点

B

課題解決に向けて、児童に自ら考えさせていますか？

課題を、児童に自ら設定させていますか？

習得した知識や技能を活用し、問いを見いだして解決する学習を積み重ねていくことで、「生きて働く知識・技能」につながります。

**ステップ ①**

課題を解決するために、**教師の発問**に対する答えを考えている。



先生、何をしたらいいですか？

児童のつぶやき例

**ステップ ②**

課題を解決するための**方策**や**道筋**について、考えている。

学習のゴールに近づくために、こんなことをしてみよう。

**ステップ ③**

課題の解決に向けて考えた方策や道筋について、学習を進める中で、**修正**したり**応用**したりしている。

これまでのやり方では、うまくいかないぞ。どうしたらいいだろう。

★あなたの学級の児童は、どのステップに当てはまりますか？学期ごとにチェック☑していきましょう！  
チェック欄の下に、ステップアップのためのヒントが載っています！

★発問中心の授業になりがちと思われる方は、「[授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2](#)」へGO！

クリック⇒「[教師の主な役割（コーディネート）](#)」

4月			
7月			
12月			
3月			



ステップ②へGO

「手立て一覧表」

**k**、**h'**、**l**、**m**

ステップ③へGO

「手立て一覧表」

**h'**、**l**、**n**、**o**、**p**、**p'**

「授業改善ステップ表」C

**観点 C** 友達や教職員、地域の人など、他者とのやりとりを通して  
**児童の考えを広げたり、深めたりさせていますか？**

児童同士で協働したり、教職員や地域の人と対話したり、作者の考えに触れたりすることで、児童の考えを広げたり深めたりすることができます。形式的な報告会にならないような工夫が必要です。

**ステップ ①**  
 (低学年)  
**自分の感想や意見を  
 持って、相手に伝えている。**

 ○さんは、そう思ったんだな。  
 児童のつぶやき例

**ステップ ②**  
 (中学年)  
**感想や意見を伝え合う  
 中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付いている。**

ぼくとは、ここが違うね。  
 でも、いい考えだね。

**ステップ ③**  
 (高学年)  
**感想や意見を伝え合う  
 中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付き、自分の考えを確かなものにしたり、見直したりしている。**

なるほど。…だと思っていたけど、その理由からも、やっぱりそうに違いない。

★あなたの学級の児童は、どのステップに当てはまりますか？学期ごとにチェック☑してみましょう！  
 チェック欄の下に、ステップアップのためのヒントが載っています！  
 ★対話による考えの広がり、深まりについて詳しく知りたい方は、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1」  
 へGO！ [クリック⇒『書く活動』、『話し合う活動』の設定](#)

4月			
7月			
12月			
3月			



**ステップ②へGO**  
 「手立て一覧表」  
**q、q'、r、s、t**

**ステップ③へGO**  
 「手立て一覧表」  
**o、p、p'、r、u**

「授業改善ステップ表」D

**観点 D** **児童に、自身の学びや変容を自覚させる**  
**振り返りをさせていますか？**

1 単位時間や単元の終末で、振り返りの時間を設定していますか。児童自身が、学びや変容について説明、評価をすることは、学習意欲を高めたり、次の学びの礎につながったりします。

**ステップ ①**

できるようになったことや分かったことについて、振り返っている。

〇〇が、おもしろかったです。またしたいです。

児童のつぶやき例

**ステップ ②**

できるようになったことや分かったことについて、理由や根拠を挙げながら、振り返っている。

〇〇を△△したら、こんなことができました。

**ステップ ③**

できるようになったことや分かったことについて理由や根拠を挙げながら振り返り、次の学びに生かそうとしている。

この学習は、こんなことに役立ちました。次は、〇〇のときにも使ってみたいです。

★あなたの学級の児童は、どのステップに当てはまりますか？学期ごとにチェック☑していきましょう！  
チェック欄の下に、ステップアップのためのヒントが載っています！

★学習の振り返りについて詳しく知りたい方は、「[授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1](#)」へGO！  
クリック⇒「[授業の『振り返り』の設定](#)」

4月			
7月			
12月			
3月			



**ステップ②へGO**  
「手立て一覧表」  
v、w

**ステップ③へGO**  
「手立て一覧表」  
w、w'、x